

TJM DESIGN

株式会社TJMデザイン

所在地：
東京都板橋区

URL：
<http://www.tjmdesign.com/>

主な事業：
プロ向け建築工具製造、
WEBでの建材販売、
オリジナルキッチン製造

株式会社TJMデザイン

ライセンス、ネットワークの制約なし！ Amazon S3 でデータへのアクセスを効率化

■ 導入前の課題

- 社内のファイルサーバやSalesforce上の画像データに対し、社外またはSalesforceのライセンスを持っていないユーザーでも、アクセスできるようにする必要があった
- Amazon S3の導入にあたり、ファイルのバックアップや世代管理等をより効果的に利用するには、専門的な支援が必要だと判断した

TJMデザインは、1909年に精密測定工具メーカーとして創業し、現在は建築工具を製造するTAJIMA、WEBでの建材販売を行うTJM DINET、日本最高級のカスタムキッチンブランドkitchenhouseの3事業を主力としている企業だ。

同社では、営業支援システムとしてSalesforceを利用しており、案件情報など登録した内容を社内関係者へメール配信する運用を行っている。そのメールの中には、画像データへのリンクを含んでいるが、Salesforceにログインした状態でのみアクセスできるリンクであったり、社内のファイルサーバへのリンクであったりと、Salesforceのライセンスを保持していないユーザーや、出先で社外からアクセスしようとしたユーザーは、必要な画像を閲覧することができず、不都合が生じていた。そのため、ライセンスやネットワーク環境を意識せず、リンクから画像を参照したいという改善要望がユーザーからあがってくる状況であった。



経営サポート本部 インフラグループ
佐藤 丈夫氏

Amazon S3を利用し、 画像データへの アクセシビリティを向上

この要望を実現するため、TJMデザインでは画像データへのアクセシビリティを向上するオンラインストレージサービスの利用について、検討を開始した。選定にあたっては、当時からSalesforceのサポート支援を受けていたテラスカイに相談し、Salesforceとの連携実績が豊富なオンラインストレージとしてAmazon S3の利用、ならびに

AWS専門部隊によるコンサルティングサービスの提案を受けた。

当時、TJMデザインではAmazon EC2の利用実績はあったが、Amazon S3は未経験のサービスであったため、概念や利用方法についての情報が不足しており、特に誤ってデータを削除した際のリストアについて、どのような方法を用いればよいかの見通しを立てることが難しかった。そこで、AWSの専門的な知識、ベストプラクティスの提供と、Salesforceも含めた総合的な支援を期待して、Amazon S3の利用、ならびにテラスカイのAWSコンサルティングサービスの利用を決めた。

使用サービス

Amazon S3

本番、バックアップ環境別に AWSアカウントを分け、 セキュリティと利便性を確保

Amazon S3を利用する場合でも、社内のファイルサーバと同様に、ファイルのバックアップを検討した。バックアップ方式を決める上でポイントとなったのが、ファイルのリストア方法だ。社内のファイルサーバでは、2つのボリュームを同期し、有事の際はバックアップボリュームからファイルをコピーする、というリストア方法を用いていたため、Amazon S3でも同様の方式を想定していた。しかし、初めに検討していたAmazon S3のバージョンニング機能では、想定していたリストア方法を実現できないことが分かった。そこで、テラスカイの助言を元に、2つのバケットをAWS CLIを用いて同期させることで、有事の際はバックアップ用バケットからファイルをコピーしリストアする方式とした。

また、バケットを作成する際、AWSアカウントが保有しているバケットの一覧は、ユーザーごとに参照範囲を制限することができないため、管理が複雑、かつ一般ユーザーにバックアップ用バケットの存在が知られてしまう、という問題があった。そこで、AWSアカウントを本番、バックアップ環境用の2つに分け、それぞれでバケットを保持することで、用途ごとに分けられたバケット一覧が作成され、また一般ユーザーからはバックアップ用バケットが見えない、かつアクセスできない環境を構築した。

専門家の支援により、不安から安心へ 数字には表せない効果を実感

前述のように、プロジェクト開始前はAmazon S3の利用経験がないことから、機能を最大限に活用しきれないのではという不安があったが、今回テラスカイの支援を受けることにより、AWSの機能を要件に合わせて

ベストな状態で利用できるという安心を得ることができた。「AWSを利用することによって、ライセンスやネットワークの制約なくシステムを利用することができるようになり、数字には表せない効果を実感している。」とIT戦略本部の本間氏は語る。また、「オンプレミスとAWSを単純に利用料だけで比較すると、それぞれのコストに大きな差はないかもしれない。しかしながら、災害対策や間接的なコストまで考慮すると、AWSを利用したほうがお得。」と経営サポート本部の佐藤氏は語った。



IT戦略本部
システム開発グループ
本間 千寿氏

社内、外に依存することなく 利用できる環境へ

今後の展望について佐藤氏は言う。「今回のシステム以外にも、まだ社内のファイルサーバにデータを格納しているシステムが複数存在する。これらをクラウドに移行し、社内、外関係なく利用できる環境にできればと考えている。その中でも、今回利用したAmazon S3は有力候補にあがってくる。」

※ Amazon Web Services. "Powered by Amazon Web Services"ロゴ、[およびかかる資料で使用されるその他のAWS商標]は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

